



★★★ 2000-2011 年の GMO 大豆作付面積 / GMO Soybean Varieties by State in US ★★★

Genetically engineered (GE) soybean varieties by State and United States, 2000-2011													
Herbicide-tolerant only													
State	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	
Percent of all soybeans planted													
Arkansas アーカンソー	43	60	68	84	92	92	92	92	94	94	96	95	
Illinois イリノイ	44	64	71	77	81	81	87	88	87	90	89	92	
Indiana インディアナ	63	78	83	88	87	89	92	94	96	94	95	96	
Iowa アイオワ	59	73	75	84	89	91	91	94	95	94	96	97	
Kansas カンザス	66	80	83	87	87	90	85	92	95	94	95	96	
Michigan ミシガン	50	59	72	73	75	76	81	87	84	83	85	91	
Minnesota ミネソタ	46	63	71	79	82	83	88	92	91	92	93	95	
Mississippi ミシシッピー	48	63	80	89	93	96	96	96	97	94	98	98	
Missouri ミズーリ	62	69	72	83	87	89	93	91	92	89	94	91	
Nebraska ネブラスカ	72	76	85	86	92	91	90	96	97	96	94	97	
North Dakota N ダコタ	22	49	61	74	82	89	90	92	94	94	94	94	
Ohio オハイオ	48	64	73	74	76	77	82	87	89	83	86	85	
South Dakota S ダコタ	68	80	89	91	95	95	93	97	97	98	98	98	
Wisconsin ウィスコンシン	51	63	78	84	82	84	85	88	90	85	88	91	
Other States 1/ 他州	54	64	70	76	82	84	86	86	87	87	90	92	
U.S. 合計	54	68	75	81	85	87	89	91	92	91	93	94	

*USDA Soybeans only have herbicide-tolerant GE varieties. *1/ Includes all other States in the soybean estimating program

★ 上の表は 2000-2011 年のアメリカの州ごとの GMO 大豆の作付面積を%で表したものです。アメリカ大豆は広大な土地に作付られ、年間約 9,000 万トン(2010 年)以上の生産量があります。GMO 大豆以外の食品向け non-GMO や有機大豆は、高付加価値品とし約 600 万トン以上が供給されています。その食品向け大豆の生産状況は 2007 年ころから比較的安定した推移を示しています。米国内外の食品向け non-GMO 大豆の需要の高まりとともに、今後もそのトレンドは続くと思われます。

★ 日本はアメリカの食品向け non-GMO IP 大豆の最大消費国です。アメリカは、日本の“食の安心・安全”へのニーズに応えるために、種子⇒生産⇒収穫⇒保管⇒流通⇒加工の各段階で厳格な分別管理を徹底して行っています。遺伝子組み換え大豆と混じらない様に分別して生産・流通するそのシステムを総称し、“IP(分別生産流通管理)”と呼んでいます。

★ 2008 年の USDA の統計によると、アメリカの有機大豆の生産量は約 12.56 万トンあり、ミネソタ、アイオワ、ミシガン、アーカンソー、ネブラスカ、イリノイ、ミズーリ、ニューヨーク、オハイオ、ノースダコタ州の順に多く生産しています。

★ ASA-IM は、来る 11 月 18 日(金)に東京アメリカンクラブ <http://www.tokyoamericanclub.org/> にて日本の食品業界向け大豆の品質会議及びトレードショーを行います。お申し込み用紙は下記ホームページよりダウンロードできます。

www.asaimjapan.org/ Non-GMO や有機の高付加価値大豆に力を入れる優良企業が来日します。次ページの企業リストを閲覧下さい。懇親会では東京アメリカンクラブのシェフに考案いただいた盛りだくさんの大豆メニューをご用意しています!!

★ ASA-IM は、今後もアメリカの大豆業界と日本の伝統大豆食品業界の win-win でサステナブルなパートナーシップをサポートします ☺

ASA-IM Japan / USSEC
Marketing- Masi Masako Tateishi
E-mail: Mtateishi@ct.asaim.org

COMPANY NAME 企業名	PARTICIPANTS 担当者名	PRODUCTS 展示製品	COMPANY PR 企業概要
Bluegrass Farms of Ohio ブルーグラスファームズオブオハイオ 	David Martin デビッド・マーティン	豆腐、味噌、豆乳用大豆、Non-GMO 食品大豆、IP 大豆遺伝的に高品質に改良した Non-GMO 大豆を扱う	オハイオ州： ブルーグラスファームオブオハイオ社は、AOSCA の認証 IP プログラムを通じ、Non-GMO IP 食品大豆のみの生産・選別を行っています。小規模であるため、大手が対処不可能なきめ細かい点にまで気を配る事ができます。きれいに選別された袋詰め大豆を食品グレードのコンテナで出荷する事で、大きな貨物輸送で起こりうるコンタミを防ぎます。お客様の注文を農場から貴社工場まで直接お届けします。
Ceres Commodity セレスコモディティー 	Chris Bradely クリス・ブラッドリー	Non-GMO 大豆、Non-GMO 大豆ミール他	ケンタッキー州： セレスコモディティーは特定バラエティー大豆、Non-GMO の特殊大豆、No. 2 一般大豆、Non-GMO 大豆ミール、一般大豆ミールをコンテナ出荷しています。オフィスはケンタッキー州にあります。
DeLong ディロング 	Larry Holloway ラリー・ハロウェイ	スペシャルティー食品大豆・IP、Non-GMO 大豆	ウィスコンシン州： デロング社は、1929 年に設立されました。以降、スペシャリティー食品大豆、IP、Non-GMO 大豆を年間およそ 6 万エーカー近く契約栽培する国内及び海外において最大級のサプライヤーになりました。付加価値大豆の供給に加え、コンテナ出荷により大豆、大豆ミール、とうもろこし、DDGS、及びとうもろこしグルテン・ミールを極東まで年間約 300 万トン以上を供給しています。
Farmer Direct Marketing ファーマーディレクトマーケティング 	Kevin Lewis ケビン・ルイス	Non-GMO の食品大豆・Non-GMO 食品用コシ/Non-GMO 小麦・その他飼料用穀物/加工製品	ウィスコンシン州： ファーマーディレクトマーケティング社は、高品質なサービスを数社のパートナー企業に提供する生産者自営の生産・選別・ロジスティクス・マーケティング企業です。信頼、長期的な関係、パートナーシップをベースに、選別した 30Kg の袋詰めから、色彩選別、十分に選別済みのバルク船出荷まで、お客様のニーズに合った製品をお届けします。
SB & B Foods Inc. エスピーアンドビーフーズ 	Bob Sinner ボブ・シナー	http://www.sb-b.com/products-non-gmo-soybeans.htm	ノースダコタ州： SB&B フーズ社は Non-GMO 製品と有機の IP 大豆のみを扱う事で、遺伝子組み換え製品とのコンタミリスクを一切取り除いています。一貫した品質管理から、追跡可能な製品供給まで、最高級品をお届けする事を約束します。前世代と同様に、一貫した製品、安心・安全な信頼できる製品を提供する事が、成功へのカギと考えています。
Schilling Genetics シリンジャー・ジェネティクス 	Corey Nikkel コニー・ニッケル	Non-GMO 製品のみ扱い。Non-GMO 大豆、有機 Non-GMO 機能性大豆種子会社	アイオワ州： シリンジャー・ジェネティクス社は、いままでにない新製品により、食品・飼料会社、生産者、消費者が利益や価値を得られるように貢献している種子会社です。最終収益、栄養価値、高価格品の代用、限られた資源を向上させる事で、典型的な商品と比較し、よりよい代替を全体チェーンの各部門ごとにご提供する事をお手伝いいたします。
Scoular スクーラー 	Greg Lickteig グレグ・リクテッグ クリス・アーノルド クリスチャン・カイザー	豆腐/味噌/納豆/豆乳/大豆フレーク。白目/黒目大豆。高タンパク/平均タンパク。サイズは、大/中/小粒。醤油用大豆ミール	ミネソタ州： スクーラー社は 119 年間の経営の歴史があります。日本向け食品大豆を 17 年間、供給して来ました。日本のお客様が高品質・低価格を望んでいる事、希望している品質について良く理解しています。日本のバイヤーにアメリカの生産者とのアクセスをご提供します。安く仕入れ、より安く販売する事が可能です。年間 150,000 TEUS の扱い量があります。市場で最も低い輸送費をご提供する事が可能ですので、大豆価格も低価格にてお届けできます。
SK Foods SK フーズ 	Representative 代理者	日本向け Non-GMO 食品大豆認証有機大豆	ノースダコタ州： SK フーズインターナショナルは米国内でも大量の原料を供給する輸入/輸出商社です。家族型経営で、合わせて 200 年以上の経験を積んだスタッフによって支えられ、認証有機大豆、Non-GMO の食用豆、穀物、種子、大豆、ブラン、胚芽、繊維、小麦粉、ミール、植物油、酢、甘味料、米製品、ひきわり、脱皮大豆、インスタントパウダー、フレーク等を含む IP 関連製品を供給しています。
Sun Opta サンオプタ 	Atsuko Uchiyama 内山敦子	豆乳パウダー/大豆ファイバー/大豆	ミネソタ州： (株)サンオプタフーズジャパンは、サンオプタグレイン&フーズグループの日本事務所です。サンオプタは、30 年余にわたり食品大豆 (Non-GMO とオーガニック) の大豆、コーンを生産・販売し、また豆乳、豆乳パウダーなどを製造しています。